

平成16年度病虫害発生予察 予報第8号

平成16年11月16日
 長崎県病虫害防除所長

【気象(平成16年11月12日発表 1か月予報 福岡管区气象台)】

九州北部地方では、天気は数日の周期で変わってしまう。
 向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込みです。
 週別の気温は1週目は平年並、2週目は平年並が高く、3～4週目は平年並でしょう。

要素別確率 単位(%)

要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	20	50	30
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

* 予報対象地域：九州北部地

【予報の概要】

農作物名	病虫害名	発生程度	
		現況	予想
トマト	コナジラミ類 黄化葉巻病 ハモグリハエ類	並 やや多 やや少	並 やや多 やや少
きゅうり	うどんこ病 ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	やや少 並 やや多	やや少 並 やや多
キャベツ	コナガ	並	並
にんじん	うどんこ病 黒葉枯病	やや少 やや少	やや少 やや少
いちご	うどんこ病 アブラムシ類 ハダニ類(注意報第9号) ハスモンヨトウ	やや少 並 やや多 やや少	やや少 並 やや多 やや少
かんきつ	ミカンハダニ	並	並
つつじ	褐斑病	並	並

【トマト】

1. コナジラミ類(シバノリコナジラミ、ウツコナジラミ)と黄化葉巻病

1) 予報内容

発生程度	コナジラミ類	並
	黄化葉巻病	やや多

2) 予報の根拠

コナジラミ類

11月上旬の巡回調査の結果、寄生株率は2.8%(2.9%)、発生圃場数は12筆中4筆であった。

黄化葉巻病

(1) 11月上旬の巡回調査の結果、発病株率は0.0%、発生圃場数は12筆中1筆であった。

(2) 10月～11月にかけて農業改良普及センターの巡回調査によると県内各地で本病が発生していた(既発生地)。

- 3) 防除上注意すべき事項
- (1) 黄化葉巻病はシルバーリーフコナジラミのみで媒介されるウイルス病である。
 - (2) シルバーリーフコナジラミの発生は、本年、夏季から秋季にかけて多かったが、現在、減少しており、12月以降、野外での発生はほとんどみられなくなる。
 - (3) このため、12月以降の発生が少ない時期に、ハウス内の防除を徹底し、コナジラミ密度を限りなくゼロにする。また、発病株の抜き取り、適正処分を徹底し、ハウス内での二次感染防止を徹底する。
 - (4) 訪花昆虫(ハチ)を使用するハウスでは、コナジラミ防除薬剤の選択に注意し、ハチに影響の少ない薬剤を使用する。

2. ハモグリバエ類

- 1) 予報内容
発生程度 やや少
- 2) 予報の根拠
1 1月上旬の巡回調査の結果、寄生株率2.0%(7.8%)、発生圃場数は12筆中8筆であった。

【きゅうり】

1. うどんこ病
- 1) 予報内容
発生程度 やや少
- 2) 予報の根拠
1 1月上旬の巡回調査の結果、発病葉率は3.3%(6.6%)、発生圃場数は8筆中5筆であった。

2. ミナミキイロアザミウマ

- 1) 予報内容
発生程度 並
- 2) 予報の根拠
1 1月上旬の巡回調査の結果、寄生葉率は0.1%(0.5%)、発生圃場数は8筆中1筆であった。

3. コナジラミ類(シルバーリーフコナジラミ、オシロイコナジラミ)

- 1) 予報内容
発生程度 やや多
- 2) 予報の根拠
1 1月上旬の巡回調査の結果、寄生葉率は3.1%(1.9%)、発生圃場数は8筆中6筆であった。
- 3) 防除上注意すべき事項
発生が多くなるとすす病の原因となるので、発生初期に防除する。

【キャベツ】 キャベツの()は平成11~15年の5ヶ年の平均値

1. コナガ

- 1) 予報内容
発生程度 並
- 2) 予報の根拠
1 1月上旬の巡回調査の結果、寄生株率は0.4%(1.9%)、発生圃場数は12筆中2筆で、一部多発圃場があった。

【にんじん】 にんじんの()は平成6、7年及び11~15年の7ヶ年の平均値

1. うどんこ病

- 1) 予報内容
発生程度 やや少
- 2) 予報の根拠
1 1月上旬の巡回調査の結果、発生は認めなかった(発病株率3.6%)。

2. 黒葉枯病

1) 予報内容

発生程度 やや少

2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査の結果、発生は認めなかった（発病株率 1.2%）。

【いちご】

1. うどんこ病

1) 予報内容

発生程度 やや少

2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査の結果、発生は認めなかった（発病株率 0.4%）。

2. アブラムシ類

1) 予報内容

発生程度 並

2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査の結果、寄生株率 2.4%（3.4%）、発生圃場数は27筆中6筆であった。

3. ハダニ類

平成16年11月16日付、病害虫発生予察 注意報第9号による。

4. ハスモンヨトウ

1) 予報内容

発生程度 やや少

2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査の結果、被害株率 2.0%（9.6%）、発生圃場数は27筆中10筆であった。

【かんきつ】

ミカンハダニ

1) 予報内容

発生程度 並

2) 予報の根拠

(1) 11月上旬の巡回調査の結果、寄生葉率は8.3%（13.0%）、発生圃場数は39筆中19筆であった。

(2) 防除員の報告によると、発生が多い地域が見られる。

【つつじ】

褐斑病

1) 予報内容

発生程度 並

2) 予報の根拠

11月上旬の巡回調査の結果、発病葉率は6.2%（7.0%）、発生圃場数は8筆中7筆であった。